

改訂：2026年2月5日

SMA ワークフローのフレームワーク

SMA ワークフローの動作方法

SMA ワークフローは、インフラストラクチャ内のイベントを管理してモニタし、処理する集中型システムについての記述です。同時に、堅牢なアラート機能も提供します。このプロセスに関与する主要なコンポーネントは次のとおりです。

process_summary

- **SMA (システム管理エージェント)**：中央管理エンティティは、統合された監視インフラストラクチャと簡単な構成オプションを提供し、イベント履歴を維持します。
- **設定入力**：SMA へのポリシー設定の提供元で、通常はコマンドラインインターフェイス (CLI) を介して与えます。
- **モニター クライアント (LC-SMA、ゾーンサーバー、FCNS、F ポートサーバー)**：設定の更新を受信してイベントトリガーを送信するために SMA に登録しておく、さまざまなシステムまたはサービス。
- **アクション クライアント (FPM、ポートマネージャ)**：特定のアクションを受信して実行するために SMA に登録しておくシステムまたはモジュール。
- **アラート (Syslog、SNMP TRAP、OBFL)**：ロギングとアラート生成の通知を送信するために SMA が使用する、外部のシステムまたはプロトコル。

result

SMA ワークフローは、インフラストラクチャ管理に対する包括的で一元化されたアプローチを提供し、さまざまなアラートメカニズムによる自動モニタリング、ダイナミック設定、能動的イベント処理、効率的な通知を可能にします。

SMA ポリシー アーキテクチャの仕組み

ポリシー アーキテクチャは、システムとネットワークの動作を管理するルールを定義して適用するための構造化されたフレームワークを提供します。要素を論理的なグループに編成して、特定のモニタリング条件を自動化されたアクションに関連付けます。

process_summary

このプロセスに関与する主要なコンポーネントは次のとおりです。

- **ポリシー**：システムまたはネットワークの動作を管理するためのルールと応答を定義する、包括的なフレームワーク。
- **エンティティグループ**：特定のモニタリングルールとアクションルールが適用されるネットワーク要素またはシステム（エッジポート、コアポート、システムなど）の論理的な集合。

- ・**モニターグループ**：特定の状態またはイベント（低速ドレイン、リンクの完全性、設定の規模、環境など）を検出するためにエンティティグループ内で継続的に観察される、一連の事前定義された条件またはメトリック。
- ・**アクショングループ**：モニターグループによって定義された条件（FPIN、Syslog、ポートガード、トラップなど）が満たされたときにトリガーされる、自動応答または操作のコレクション。

result

ポリシー アーキテクチャは、モジュール的でスケーラブルな自動化されたアプローチを使用して、さまざまなネットワークおよびシステム エンティティ全体でイベントを管理および対応できるようにします。これにより、ルールの適用の一貫性と効率的な運用制御が保証されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。